NewsLetter vol.09 2022.4

"違いの先にある「同じ」を知る"

手で触れて楽しむ「絵本」を知っていますか?

点訳奉仕会 指で読む絵本づくり





点訳奉仕会 「指で読む絵本づくり」

絵本は、文字だけでなく、絵を見ながらストーリーを楽しむもの。 では、視覚に障がいのある子どもたちは、どのように絵本を楽し むのでしょうか?

藤沢市内で活動する点訳奉仕会の中には、絵本づくりを担当しているグループがあります。点訳奉仕会「指で読む絵本づくり」は、昭和51年3月に活動を開始しました。当初は15名で「絵本」グループを作り、制作した絵本は主に横浜市立盲学校(現、横浜市立盲特別支援学校)と横浜訓盲院に送っていました。その後、点字を多くの子ども達に知ってもらうため、各公民館・図書館にも送るようになりました。最近では、複数の場所から依頼されることが多く、県立平塚盲学校、横浜市立盲特別支援学校、筑波大学ダイバーシティアクセシビリティキャリアセンターなどへ送っています。

さまざまな素材をつかって

1冊の絵本をつくるまでに3~4ヵ月かかります。団体の皆さんで集まるのは、月に2回ですが、それぞれ家に材料を持ち帰り、作業をおこないます。1年に3~4冊の新作をつくっています。インタビューでは「指で読む絵本づくり」の活動を20年以上続けている、内田茂子さん、長谷川洋子さん、松平ちひろさんに、触れることで楽しめる絵本づくりへの想いや工夫を伺いました。







指で触れて、絵を感じる。そのためには、なるべく実物に近い「素材」を使うのだそう。物語にセーターが出てくれば、毛糸でセーターを編み、かごや竹ぼうきなど、触れたときに形が分かるだけでなく、手触りも楽しめる工夫が施されています。

いろいろな見え方の子ども達へ

視覚障がいといっても、全盲の子もいれば、弱視の子、視野が欠けている子など、見え方はさまざまです。みんなが楽しめるものをつくるには、素材だけでなく、色も実物に近いものを選んでいきます。文字も通常のものよりも大きくし、その上から、透明の点字シートを貼っていく。もちろん、この点字シートに点字をうつのも団体のメンバーです。

福祉と関わるとは?

インタビューの中でも「気づきの連続」という言葉がありました。 「指で読む絵本づくり」の皆さんは、視覚障がいのある方が身近に いたという方ばかりではありません。むしろ、視覚障がいのある 方と触れ合ったことはないけれど、好きなお裁縫をきっかけに、 この集まりと出会い、日常の中に「見えない」「見えにくい」とは どういうものだろうと、その発想が広がっていく。いろいろな形 の福祉のあり方を感じることができます。

interview

▶詳しくは、サイト内の記事へ。

見えなくても、絵本を読む楽しみを届けたい (点訳奉仕会 指で読む絵本づくり) https://shogai-ana.com/interview027/



「聞こえない」の理解のその先に

神奈川県聴覚障害者福祉センター

藤沢駅北口から徒歩10分に位置する神奈川県聴覚障害者福祉セン ター。昭和55年に設置され、相談事業をはじめ、聴覚障がい児者の 支援や教室、手話通訳者・要約筆記者の派遣や養成、ビデオライブ ラリーなど幅広い事業を展開しています。センターでは昨年度、他 の機関とコラボする新しい取組みをスタートしました。

ともに生きる、ともに暮らすとは何なのかを考える内容になって います。とくに、「聞こえないと分かると、話しかけてきた相手は何 のリアクションもなく、スーッといなくなってしまう」という聴覚 に障がいのある熊谷施設長が話してくれた何気ないエピソードは、 私たちに大きな気づきを与えてくれます。一緒の地域でともに生き るためにできることを考えてみましょう。





interviewe

▶詳しくは、サイト内の記事へ。

コラボから生まれる新しい取組み(神奈川県聴覚 障害者福祉センター熊谷徹施設長・佐藤育子さん) https://shogai-ana.com/interview024/



「聞こえない」で終わらないコミュニケーションを (聴覚障害者福祉センター施設長 熊谷徹さん) https://shogai-ana.com/interview025/



人を好きになる「かぐやびより|





column

▶詳しくは、サイト内の記事へ。 人を好きになる「かぐやびより」シネコヤで上映 https://shogai-ana.com/column20220423/



小田急線善行駅から歩いて7分、障がいのある方が日中活動をおこ なう福祉施設「さんわーくかぐや」の日常を映画にした「かぐやびより」 が鵠沼海岸にあるシネコヤで4月28日から上映されています。4月 17日には通常上映に先立ち、プレミアム上映がおこなわれ、さんわー くかぐやのメンバーの舞台挨拶や監督のトークイベントがありました。

この映画は、見ている私たちに価値観を押しつけない不思議な柔ら かさがあります。「見ている方に感じてもらいたい」という監督の想い をのせた映画は、自然な呼吸で「さんわーくかぐや」という福祉施設 へ行った気分にさせてくれる。福祉や障がいを知らなくては話につい ていけないということもまったくありません。この映画を見ていると、 人の一瞬には前にも先にも続く延長される時間があることを実感しま す。構えることなく、多くの方に楽しんでいただきたい映画です。

取材させてください! 取材先大募集!!

皆さんの想いを大切に、丁寧に取材させていただきます。記事 を通して、その想いを多くの方の心へ柔らかく届けます。ご連 絡をお待ちしています!

Ana Letter サイト内の 「お問い合わせ/取材依頼」より

オンラインでの 取材も可能です

ご連絡ください



インタビュー内容をメールで送付します

詳細をお伺いします (対面 or オンライン)



記事を作成し完成後、ご連絡します

公式 LINE アカウント

最新情報をいち早くお届け月 ぜひご登録ください♪



@shogai_ana

障がいのアナのサポーター になりませんか?

活動を支えるご支援・ご寄付をお願いします

障がいのアナは、現在、運営するウェブメディア「Ana Letter」を軸に、 藤沢市内を中心に「障がい」や「福祉」の情報を発信しています。今後は、 体験や交流できるイベントの実施など、アナをあける様々な催しを計画 しています。

すべての人が自分の生きる価値を感じられる、柔らかい社会を目指し て。障がいのアナが、皆さんと一緒につくる新しいカタチを応援してく ださい。

サポーター4つの特典

- ①サポーター登録証の発行
- ②サポーター限定イベントへの参加
- ③オンラインイベント等への特別価格での参加
- ④紙面で発行されるニュースレターの送付

サポーター登録はこちらから□▶

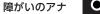




NewsLetter

障がいのアナニュースレター Vol.9 2022年4月発行

発行:市民活動団体 障がいのアナ mail: info@shogai-ana.com





Facebook @shogai.ana Instagram @shogai_ana LINE @shogai_ana

https://shogai-ana.com